

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療研究センター病院／国府台病院では、以前に「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の前向き観察研究」「NCGMバイオバンク構築」のご協力者からいただいた検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この新たな研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

COVID-19の病態に関連するヒトゲノム因子の解析

[研究対象者]

2012年4月に開始された「NCGMバイオバンク構築」（研究責任者：国土 典宏 理事長）、または2020年1月に開始された「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の前向き観察研究」（研究責任者：杉山 温人 病院長）への協力にご同意いただいている方

[利用している検体・診療情報等の項目]

検体：血漿、血清、呼吸器由来検体（スワブぬぐい液、喀痰、うがい液等）

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、血液検査、治療薬、処置、既往歴、併存疾患名

[利用の目的]（遺伝子解析研究：有）

新型コロナウイルスのゲノム配列を解析し、診療情報とあわせて病態の解析を行います。ここで得られるデータは、先行研究で解析済みのヒト遺伝子データとも連携させて解析します。それらにより、病態の解明を詳細に行います。ウイルスゲノムと診療情報は、個人情報削除してから研究用データベースへ登録し、将来の医学研究へ利用します（REBIND：<https://rebind.ncgm.go.jp/>、GISAID：<https://gisaid.org/>など）。

[研究実施期間]

解析：研究の実施許可日より2025年3月31日までの間（予定）

データ：データベースへ登録したデータは半永久的な登録となり、将来の医学研究に利用します。

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター 研究所感染病態研究部 杉山 真也

研究内容の問い合わせ担当者：国立国際医療研究センター 研究所感染病態研究部 杉山 真也

電話：047-372-3501（代表）（応対可能時間：平日 9時～16時）

作成日：2024年4月2日

第1.0版